

2009年度イビデングループ入社式を挙行

イビデン株式会社は、4月1日(水)10時45分から、本社・多目的ホールにおいて、2009年度入社式を行いました。今年度の新入社員数は337名（グループ6社を含む）です。

入社式での社長あいさつの要旨は下記の通りです。



竹中社長あいさつ



新入社員による誓いの言葉

【竹中社長あいさつ（要旨）】

皆さん入社おめでとうございます。

本日ここに、若さ溢れる皆さんを社員として迎えることができ、嬉しく思います。

今、世界は100年に一度の経済危機を迎え、当社も大変厳しい事業環境にあります。

当社は今年で創立97年目を迎える伝統ある企業です。これまで幾多の困難がありました。が、全社一丸となり乗り越えてきました。イビデンには、“困難に直面すると全社員が一致団結し、苦境を乗り越えていく”というDNAがあります。皆さんもこのDNAを受け継ぎ、一日も早く真のイビデン社員になってください。

皆さんの入社式にあたり、イビデングループ社員としての心構えを3つお話します。

1つ目は、“プロの社会人になったという自覚を持って行動する”ということです。規則を守る、約束を守る、相手の立場で物事を考えるなど、今日からはプロの社会人として良識ある行動をしてください。

2つ目は、“国際的視野で物事を考える”ということです。人口問題や環境問題など私たちを取り巻く国際社会はたくさんの問題を抱えています。“これらの大きな問題が事業に影響を及ぼしている”といった感覚を持ち、国際的な視野で物事を考えるようにしてください。皆さんがイビデングループの社員として、やがてこの国際舞台で活躍する姿を期待しています。

3つ目は、全員が“自分は会社でどのような貢献ができるかを問い続ける”ということです。「16,000人もいる会社だから、自分ひとりぐらいは手を抜いても大丈夫だ」と皆さんが思えば、会社はあっという間に傾いてしまいます。一人ひとりが会社にどんな貢献ができるのかを絶えずと問い続けてもらえば、イビデングループは今後も永続的な発展を続けることができます。

今日からこの3つの心構えを毎日の行動に活かし、イビデンをもっと良い会社にしてください。

これからの、皆さんのイビデングループ社員としての生活が、楽しく充実したものとなることを祈念し、私の歓迎の挨拶とします。

以上

